The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	コペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書について ： 求められる専門性および能力を中心に
Author(s)	堀井, 祐介
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2025, 25, p. 277-289
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100767
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

［研究ノート］

コペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書について
―求められる専門性および能力を中心に―

堀井 祐介

1. はじめに

本稿では，デンマークの高等教育におけるアウトカム評価の実例を示すためコペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書について，求められる専門性および能力に関する記述を中心に紹介する．デンマークでは，欧州でのアウトカム評価の流れを受けて資格枠組みを設定し，教育課程ごとに知識，能力等を記述する形で高等教育質保証体制を構築している．その仕組みにおいて直接学生にアウトカムを意識させるものとして，また，科目群レベルでの教育質保証ツールとして用意されているのがカリキュラム詳述書である．アウトカムの点に加えて，カリキュラム詳述書は，また，大学および教員が学生に対して提供する教育についての取扱説明書としての側面も持っている．

2. デンマークの高等教育制度概観と国家資格枠組み

デンマークの教育システム概観図[1]では，教育課程，教育種別ごとに ISCED（国際標準教育分類[2]）と欧州資格枠組み(European Qualilfication Framework, EQF[3])との対応が示されている（図 1）．また，EQF に準拠した 8 段階の資格枠組み[4]を設定し，教育課程，教育種別ごとに対応させている（図 2）．さらに，段階ごとに，知識，技能（スキル），能力・態度の区分を設け，その内容について具体的に記述している．

---

1 こども教育省サイト　https://www.uvm.dk/uddannelsessystemet/overblik-over-det-danske-uddannelsessystem/det-ordinaere-uddannelsessystem　日本語筆者

2 国際教育分類(ISCED: International Standard Classification of Education)は，ユネスコ統計研究所が開発した各国の教育課程に関するデータ比較のために用いられる枠組み．現在は 2011 年の改訂版が用いられている．教育課程及びそれらが提供する資格が分類コード（三桁数字）とともに一覧化されている（高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）サイトより）．

3 https://europass.europa.eu/en/europass-digital-tools/european-qualifications-framework

4 https://ufm.dk/uddannelse/anerkendelse-og-dokumentation/dokumentation/kvalifikationsrammer/typer/hardtableview

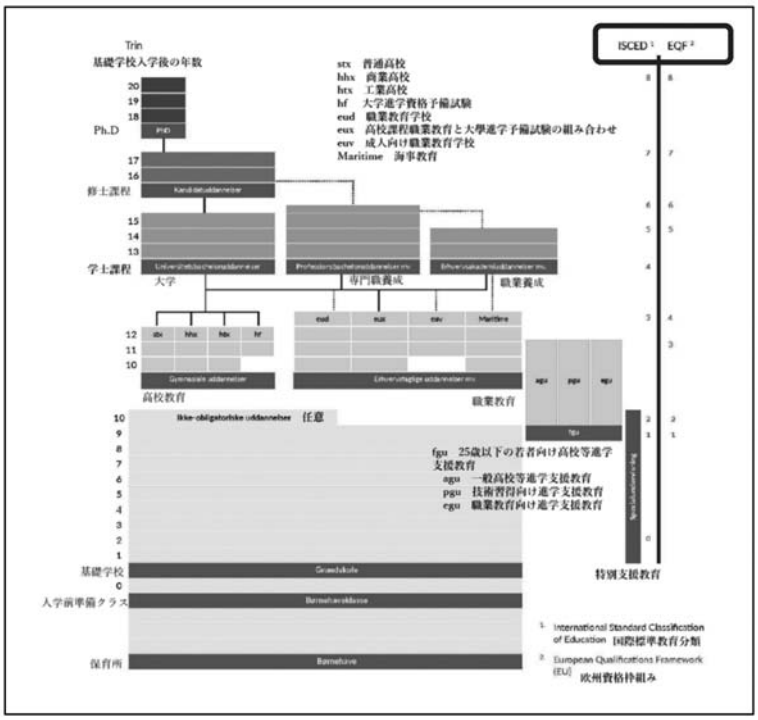
Trin
基礎学校入学後の年数
ISCED 1
EQF 2
Ph.D
修士課程
学士課程
大学
専門職養成
職業養成
高校教育
職業教育
任意
基礎学校
入学前準備クラス
保育所
特別支援教育
stx 普通高校
hhx 商業高校
htx 工業高校
hf 大学進学資格予備試験
eud 職業教育学校
eux 高校課程職業教育と大学進学予備試験の組み合わせ
euv 成人向け職業教育学校
Maritime 海事教育
fgu 25歳以下の若者向け高校等進学支援教育
agu 一般高校等進学支援教育
pgu 技術習得向け進学支援教育
egu 職業教育向け進学支援教育
1 International Standard Classification of Education 国際標準教育分類
2 European Qualifications Framework (EU) 欧州資格枠組み

図 1

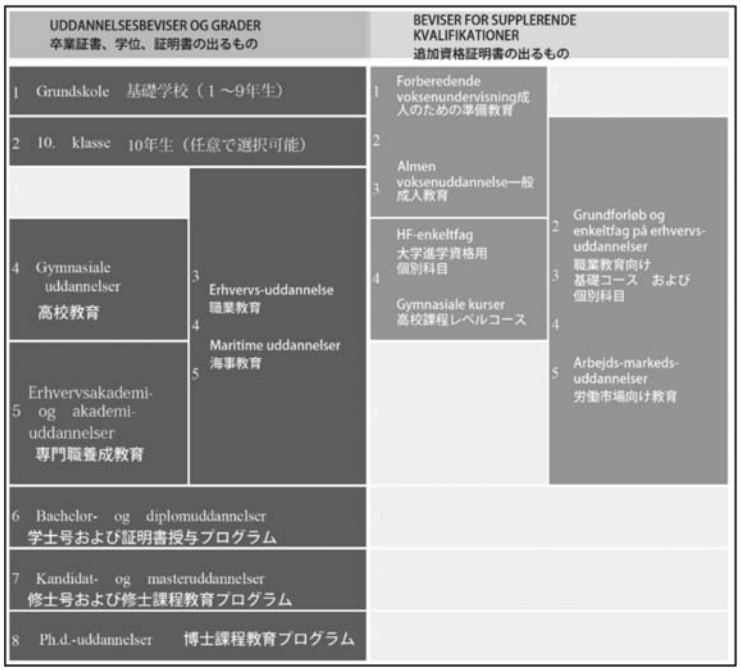
UDDANNELSESBEVISER OG GRADER
卒業証書、学位、証明書の出るもの
BEVISER FOR SUPPLERENDE KVALIFIKATIONER
追加資格証明書の出るもの
1 Grundskole 基礎学校（1～9年生）
2 10. klasse 10年生（任意で選択可能）
4 Gymnasiale uddannelser 高校教育
3 Erhvervs-uddannelse 職業教育
4 Maritime uddannelser 海事教育
5 Erhvervsakademi- og akademi-uddannelser 専門職養成教育
6 Bachelor- og diplomuddannelser 学士号および証明書授与プログラム
7 Kandidat- og masteruddannelser 修士号および修士課程教育プログラム
8 Ph.d.-uddannelser 博士課程教育プログラム
1 Forberedende voksenundervisning成人のための準備教育
2 Almen voksenuddannelse一般成人教育
3 HF-enkeltfag 大学進学資格用個別科目
4 Gymnasiale kurser 高校課程レベルコース
2 Grundforløb og enkeltfag på erhvervs-uddannelser
3 職業教育向け基礎コース および個別科目
4 Arbejds-markeds-uddannelser 労働市場向け教育

図 2

その具体的な内容の例示としてレベル 6（学士課程相当）について以下の表 1 に示す.

表 1 デンマーク資格枠組み（レベル 6　学士課程相当[5]）

知識	技能（スキル）	能力・態度
専門的職業または1つ以上の専門分野における理論，手法および実践の知識を有していること. 理論，手法，実践を理解し，熟考すること.	1 つ以上の専門分野における手法とツールを活用するとともに，専門分野内での雇用または職業に関連するスキルを活用できること. 理論的および実際的な課題を評価するとともに，今強に基づき関連する解決策を選択できること. 専門的な課題と解決策を同僚や非専門家，または協力者や利用者に伝えることができること.	研究または作業の活動において複雑で発展指向の状況を処理できること. 専門的なアプローチで専門的かつ学際的な協働作業に独立した個人として参加できること. 自らの学習ニーズを特定し，さまざまな学習環境で自らの学習を構築できること.

このようにデンマークでは，アウトカムを欧州資格枠組み，デンマークでの資格枠組みを設定した上で，枠組内のレベルごとに知識，技能（スキル），能力・態度について具体的な記述を示す形で教育の質保証につなげている．次章ではこの仕組みを受けてコペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のアウトカムおよび教育質保証の仕組みについてカリキュラム詳述書に基づき説明させていただく.

3. カリキュラム詳述書とは

カリキュラム詳述書(studieordning)とは，コペンハーゲン大学医療科学部サイトでは,

> 教育課程がどのように構成されているかの枠組を定めるものである．そこには，どのように教育課程を修了するか，および，どのように教育課程の目的と構成に

[5] https://ufm.dk/uddannelse/anerkendelse-og-dokumentation/dokumentation/kvalifikationsrammer/niveauer-i-kvalifikationsrammen

ついて説明するかについての規則が含まれている．[6]

と記されている．また，オーフス大学学習ポータルサイト（人文学部）では以下の様に説明がなされている[7]．

カリキュラム詳述書とは？
学生として入学が許可された教育課程について記されている．
カリキュラム詳述書は学生として重要である，なぜならカリキュラム詳述書によって個々の学期に何をどのように学ばなければならないかが記されており，また，教育課程における規則についても記されている．学生にはどの規則が自分の教育課程に適用されるかについて確認する責任があります．カリキュラム詳述書は教育課程の法的根拠となります．カリキュラム詳述書には，以下の内容が記されている．

- 教育課程への入学要件
- 教育課程の説明とそこから何が獲得出来るのか
- 教育課程で開発すべき知識，技能（スキル），能力・態度についての記述
- 教育課程の構造の概要
- 個々の科目，その目的，試験で判定される専門的能力についての記述
- 個々の試験とその条件
- 学生に適用される規則の概要

カリキュラム詳述書は，教授会および教務委員会において教員と学生によって作成され，学部長によって承認される．教育課程およびカリキュラム詳述書の枠組は，教育研究省が発出した省令により規定されている．

このようにカリキュラム詳述書とは，日本での３つのポリシー（アドミッション・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシー）の要素を併せ持ったものであると考えられ，大学における専攻レベルでの教育質保証ツールとして位置づけられるものであると考えられる．

4. コペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書

コペンハーゲン大学人文学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書の目次は以下の通りである[8]．

[6] https://sund.ku.dk/uddannelse/for-studerende/studieordninger/
[7] https://studerende.au.dk/studier/fagportaler/arts/studieordninger
[8] https://hum.ku.dk/uddannelser/aktuelle_studieordninger/dansk/dansk_ba.pdf

第1章　根拠
　第 1 節　根拠
第2章　入学要件，単位規程，教育プログラムの所属，学位名称
　第 2 節　入学要件
　第 3 節　単位規程
　第 4 節　教育プログラムの所属
　第 5 節　学位名称
第3章　学習に関する技術的要件
　第 6 節　外書講読
　第 7 節　標準ページ分量の定義
　第 8 節　シラバス（試験に際しての要件）
第4章　能力目標と専門性の概要
　第 9 節　能力記述
　第 10 節　能力概要
第5章　構成と科目構成要素
　第 11 節　構成
　第 12 節　学習開始にあたっての試験
　第 13 節　教育課程科目の構成要素
　文法とテキスト（必修科目・教育課程構成科目）
　　文学分析（必修科目・教育課程構成科目）
　　言語とコンテキスト（(必修科目・教育課程構成科目）
　　文学史（必修科目・教育課程構成科目）
　　メディア分析（必修科目・教育課程構成科目）
　　現代文学（必修科目・教育課程構成科目）
　　デンマーク語専攻における理論と方法（必修科目・教育課程構成科目）
　　選択科目 A（教育課程構成科目）
　選択科目 B（教育課程構成科目）
　　学士プロジェクト（必修科目・教育課程構成科目）
第6章　単位換算および経過措置
　第 14 節　単位換算
　第 15 節　経過措置
第7章　免除，発効，承認
　第 16 節　免除
　第 17 節　発効
　第 18 節　承認

始めにこの教育課程の成立，実施根拠が述べられ，続けて，入学に関する項目，学習に際して規定すべき技術的要件があり，教育課程における能力目標と専門性が記述され，具体的な教育課程の科目群の構成および科目群において求められる専門性および能力の記述が述べられ，過去の学生に対する単位換算，本カリキュラム詳述書の効力についての項目で終わる形となっている．ある意味，このカリキュラム詳述書だけで，当該専攻のデンマーク高等教育における教育質保証が完結していると言っても過言ではない．

科目群の構成についてみると，日本と比べると選択科目群が 2 つと少ない点が目に付くが，選択科目群の単位数は 6.でも述べるが卒業に必要な 180ECTS のうち 45ECTS と全体の 4 分の 1 を占めているので，学習量としては決して少なくはない．

5. 求められる専門性および能力の記述

ここでは，上記カリキュラム詳述書の中から，教育質保証につながるアウトカムの記述について「第 4 章 能力目標と専門性の概要」の「第 9 節 能力記述」，「第 10 節 能力概要」について紹介する．

第 9 節能力記述

デンマーク専攻教育課程（学士）は学術的，人文学的教育課程であり，修士課程または専門性を生かせる職業につながるレベルの科学的知見に基づいた洞察力を与える教育課程である．デンマーク語専攻学士課程では，在学期間中，テキストの批判的分析的読み方，デンマーク語研究分野における問題に対する科学的方法論的アプローチの理解，それらの問題をより幅広い人々に伝えたり，教育的文脈で広めたりする能力を構築する．デンマーク語専攻教育課程（学士）の学問的中核において，学生は，専攻の 3 つの核となる専門分野（デンマーク語という文脈におけるデンマーク語，デンマーク文学，メディア）において，分析的，歴史的，方法論的，理論的およびコミュニケーションの能力を獲得する．これら 3 つの核となる分野はノルウェー語，スウェーデン語の言語と文学とつながっている．科学的理論および方法論による考察は研究対象に対する考察を促進するとともに，デンマーク語研究を人文学的，科学的，社会的な文脈に位置づける助けとなるべきものである．

第 10 節 能力概要

デンマーク専攻教育課程（学士）では以下の項目について学生が獲得する．

知識：

- 現代的および歴史的観点から見たデンマーク語という文脈におけるデンマーク文学，デンマーク語，メディア
- これら専門分野における理論，方法，実践
- スウェーデンおよびノルウェーの言語と文学
- 人文学科目における科学理論

技能（スキル）：
- 専門分野に関わる職業につながる方法，ツール，議論の形式を使用し，それについて考察する
- 理論的に，また，応用段階において問題を評価し，適切な分析および解決モデルを根拠を持って選択する
- 専門家および非専門家のどちらに対しても文書や口頭で詳細かつ正確に伝える
- デジタル言語技術ツールおよび e ラーニングプラットフォームの使用を含む，デジタル化されたテキストの検索および処理を行う
- 海外および国内，社会的および個人的な文脈において文書，口頭およびそれらを組み合わせた複合的なテキストを分析する

能力・態度：
- 文学的およびその他のテキストを理解する際に，言語およびコミュニケーション形式に関する自らの洞察力を活用する
- 自らの学習ニーズを把握し，さまざまな学習環境における自らの学習を構築する
- 専門的なアプローチで独立して専門的および学際的な共同作業に取り組む
- 文書，口頭およびさまざまなメディアを活用したコミュニケーションに対して助言を与える
- さまざまなメディアや前提条件のレベルに合わせて知識を普及させ，明確かつ正確に正しく表現し，科学的な要件と規範に従って関連する専門的概念を使用する

デンマーク専攻教育課程（学士）は，高校および大学進学予備試験課程でデンマーク語を教えるにあたっての最低限の専門要件を満たしている（高校および大学進学予備試験課程における高校科目を教えるにあたっての大学教育での最低限の専門性要件ガイドラインを参照）．しかしながら，デンマーク語における専門能力を獲得するためには，デンマーク語もしくは別の高校教育科目の分野におい

て修士号を獲得する必要がある．

「第 9 節 能力記述」では日本でいう教育目標，カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシーを合わせたものと考えられ，それらに基づき「第 10 節 能力概要」ではより具体的に，学生が獲得を目指す（大学が獲得を期待する）学習成果（アウトカム）が並べられている形となっている．

6. 教育課程の構成

教育課程の構成については，第 11 節において以下の様に記されている．

教育課程は 135ECTS[9]の必修科目および 45ECTS の学士課程選択科目彼構成されている．
第 2 項　教育課程には「学習開始にあたっての試験」（第 12 節参照）が含まれる．
第 3 項　教育課程には，第 5 学期に移動学習期間(mobilitetsvindue)が含まれ，学生はその期間を海外留学等の学士課程選択科目にあてます．
第 4 項　学生は，学士課程選択科目を含めて 120ECTS を終了した時点で，学士プロジェクトに登録することが出来る．
第 5 項　学生は学士プロジェクトを第 5 学期または第 6 学期のどちらに実施するかを自分で決めることが出来る．
第 6 項　教育課程の構造（学期，履修内容）は以下の表の通りである．

表 2　教育課程の構造

学期	科目	
1.	文法とテキスト　15ECTS	文学分析　15ECTS
2.	言語とコンテクスト　15ECTS	文学史　15ECTS
3.	メディア分析　15ECTS	現代文学　15ECTS
4.	デンマーク語研究における理論と方法 15ECTS	選択科目 A　15ECTS または 選択科目 B　15ECTS

[9] ECTS とは欧州共通教育圏(European Higher Education Area)で欧州単位互換制度で使用されている学習量に基づく単位制度であり，学士課程の学習は 3 年間で 180ECTS と定められている．なお 1ECTS 単位は，25～30 時間のフルタイム学生の学習量（面接指導，課題読書，自習，試験のプレゼンテーション等を含む）に相当し，1 年間 60ECTS だと 1500～1800 時間程度にあたる．（大学質保証ポータル　大学改革支援・学位授与機構サイトより https://niadqe.jp/glossary/5272/）

5.（移動学習期間）	学士課程選択科目　30ECTS	
6.	学士課程選択科目　15ECTS	学士プロジェクト 15ECTS

第 13 節において，表 2 に上がっている科目における獲得が期待される専門性および能力，授業方法，試験情報（実施方法，分量，使用可能資料など）などについて記されている．一例として以下に「言語とコンテクスト」の記述をあげる．

言語とコンテキスト（(必修科目・教育課程構成科目）
15ECTS
科目群コード: HDAB01341E

専門性および能力	試験において学生は以下の知識，技能（スキル），能力・態度を示すこと． 知識： ● 言語行為理論，相互作用理論を含む語用論 ● 現代デンマーク語における文法や発音の多様性や音声と文字の関係の多様性 ● デンマーク語および言語コミュニティの歴史 ● ノルウェー語およびスウェーデン語 技能（スキル）： ● より広い社会的文脈において相互作用が埋め込まれていることの知識と語用論の理論を取り入れて（会話の流れやさまざまな形態のテキストを含む）コミュニケーション活動を分析する ● 口語の音声録音を通常の正書法で書き起こし，デンマーク語の単語や発話を音声記号に転記し，音と文字の関係に関する知識に基づきスペルミスを説明する ● 中世から現代までのデンマーク語使用法調査の内容と表現の多様性と変化を分析する ● 歴史的視点を持って，文語および口語の使用法調査に基づき，デンマーク語，スウェーデン語，ノルウェー語の相違点と類似点を説明する ● デジタルテキストにおける検索を含め関連する言語技術ツ

	ールを使用し，検索結果について論じる 能力・態度： • 発音，意味，相互作用に対して批判的，分析的，理論的に熟考する • 言語の多様性と歴史的背景に関する知識に基づき，スカンジナビア間でのコミュニケーションを含むコミュニケーションについて，批判的，分析的，正確に対応する
授業方法および学習方法	演習や課題への回答を通して学生を積極的に参加させる形でのアクティブ・ラーニング型授業．講義形式となることもある．
試験情報	試験形式：指定された様式での課題提出 分量：11～15 ページ．解答期間は 7 日間 評価：7 段階評価に基づく外部審査 グループ活動規定：試験は個人としてのみ受験可能 試験言語：デンマーク語 使用が許可される資料等：全て 病気・再試験：通常の試験と同じ
特記事項	受講前に「文法とテキスト」で求められる知識，技能（スキル），能力・態度を備えていることを強く推奨します．

この第 13 節は，先の表 2（教育課程の構造）で記した科目群一つ一つに同様に記述されている．この部分は，日本でのシラバスに類似しており，15ECTS 分の科目群に対する説明となっている．15ECTS は，授業時間，予習復習時間を考慮して日本での単位数に換算すると 10～13 単位に相当する．

7. まとめ

以上，コペンハーゲン大学人部学部デンマーク語専攻のカリキュラム詳述書に基づきデンマークの高等教育における教育質保証の一端について紹介してきた．デンマークの大学における学部の専攻とは，日本の大学で言う学部に設置されている学科単位で実施されている教育と考えられる．そのことは，人部学部デンマーク語専攻修了時に授与される学位が「第 5 節 学位名称」において「学士（デンマーク語）」と記されていることからもわかる．

そう考えると，カリキュラム詳述書とは，繰り返しになるが，学科単位での，入学に関する要件を定めたアドミッション・ポリシー，教育課程編成方針であるカリキュラム・ポリシー，学位授与の要件を定めたディプロマ・ポリシーの内容

を含んでいると言える．これら日本での法定要件である 3 つのポリシー相当部分に，日本では科目ごとに記されている学習目標またはアウトカムに相当する専門性および能力の要件，授業方法および学習方法，試験情報，特記事項を科目群（10 単位〜13 単位相当）ごとに記した項目が追加された上に，法的根拠，法的効力などもしるされているのがカリキュラム詳述書である．その意味では，このカリキュラム詳述書だけで専攻（学科での教育）レベルでの教育質保証体制，情報が完結しているとも言える．

日本では，大学レベル，学部レベル，学科レベルとそれぞれに 3 つのポリシーを定めているケースや，3 つのポリシー相互が連携できていないケースなどがあり，教育質保証の枠組みが見えにくくなっている場合が多く見られる．また，基本的卒業要件である 124 単位の中で，1 単位科目や 2 単位科目ごとにシラバスを作成し，そこでの学習目標・アウトカムの記述と学部レベルでのディプロマ・ポリシーとの整合性を取らなければならない苦労も生じている．つまり，組織レベルでのポリシーを個別科目に落とし込むことも，個別科目の学習目標・アウトカムを組織レベルでのポリシーに昇華することのどちらにおいても膨大な作業が生じる事態となっているのが，日本の高等教育の現状である．

その点，デンマークの高等教育におけるカリキュラム詳述書は比較的簡潔に専攻（学科での教育）レベルでの教育質保証体制，情報が完結しているため，学生，教職員，執行部のどのレベルにおいてもわかりやすく，社会に対しても説明がしやすい形であると考えられる．もちろん，基本的な教育体制が異なるため，単純に導入できるものではないが，一度，試しに，自ら所属する学科において，個別科目の学習目標・アウトカムを基準に科目群を構築するなどして，カリキュラム詳述書を作成してみてはいかがだろうか．作成過程において，必要な部分，不必要な部分を見いだしていければ，非常にいい FD(ファカルティ・ディベロップメント)となるものと思われる．

Fagstudieordning Bacheloruddannelsen i dansk på Det Humanistiske Fakultet ved Københavns Universitet

— med fokus på kompetencemål og faglig profil —

Resumé

Yusuke Horii

Denne artikel handler om studieordningen i Danmark (Fagstudieordning Bacheloruddannelsen i dansk på Det Humanistiske Fakultet ved Københavns Universitet) med fokus på beskrivelser af de nødvendige kompetencer og for at give et eksempel på et kvalitetssikringssystem på en dansk videregående uddannelse. I Danmark er der opstillet en kvalifikationsramme efter den europæiske standard om kvalitetssikring, og der er etableret et kvalitetssikringssystem for de videregående uddannelser i form af beskrivelser af viden, kompetencer osv. for hver enkelt uddannelse. Studieordningen skal gøre de studerende direkte bevidste om læringsudbyttet i dette system og skal bruges som et værktøj til kvalitetssikring af uddannelserne på de enkelte fags niveau. Ud over læringsudbyttet fungerer Fagstudieordningen også som manual for den uddannelse, som universiteter og undervisere giver deres studerende.

Studieordningen indeholder optagelsespolitikken (Admission Policy), som definerer adgangskravene, studieordningspolitikken (Curriculum Policy), som omhandler organiseringen af studieordningen og diplompolitikken (Diploma Policy), som angiver kriterierne for tildeling af akademiske grader. Disse tre politikker, som også er de juridiske krav i Japan, suppleres med et afsnit, der beskriver krav til ekspertise og kompetencer, undervisnings- og læringsmetoder, eksamensinformation og specifikke noter for hver fagelementer, svarende til 10 til 13 point (credits) i Japan. Dette svarer til de læringsmål, der er fastsat for hvert fag i Japan, samt det juridiske grundlag og gyldighed for studieordningspolitikken. Studieordningen er en detaljeret beskrivelse af læseplanen, som også omfatter oplysninger om det juridiske grundlag og gyldigheden af læseplanen.

Dermed kan man sige, at man kan få næsten alle informationer om uddannelseskvalitetssikringssystemet med studieordningen alene. I den forstand kan

studieordningen også være et nyttigt eksempel for videregående uddannelser i Japan.

参考文献
（URL アクセスは全て 2024 年 9 月 15 日）

こども教育省サイト　https://www.uvm.dk/uddannelsessystemet/overblik-over-det-danske-uddannelsessystem/det-ordinaere-uddannelsessystem

https://europass.europa.eu/en/europass-digital-tools/european-qualifications-framework

https://ufm.dk/uddannelse/anerkendelse-og-dokumentation/dokumentation/kvalifikationsrammer/typer/hardtableview

https://ufm.dk/uddannelse/anerkendelse-og-dokumentation/dokumentation/kvalifikationsrammer/niveauer-i-kvalifikationsrammen

https://sund.ku.dk/uddannelse/for-studerende/studieordninger/

https://studerende.au.dk/studier/fagportaler/arts/studieordninger

“Fagstudieordning Bacheloruddannelsen i dansk 2019, Rettet 2020 og 2021, Justeret 2020, 2022, 2023_2 og 2024 (Det Humanistiske Fakultet Københavns Universitet)”

https://hum.ku.dk/uddannelser/aktuelle_studieordninger/dansk/dansk_ba.pdf

大学質保証ポータル　https://niadqe.jp/glossary/5272/